

360度のパノラマを楽しむ 奥武蔵・丸山

実施日 2012年12月23日（祝・金）
 天候 晴れ
 CL 鈴木恵美子 SL 一柳 昭
 参加者 若村勝昭、若村貴世子、佐藤金治、鈴木政三、山崎富美恵、渋谷賢寿、渋谷京子、伊藤久雄、遠井謙策、石原勝正 計12名
 費用 交通費 1,360 円(池袋起算)
 タイム 芦ヶ久保駅(8:55)山の花道(9:40~9:50)丸山登山道入口(10:07)高篠鉦泉郷分岐(10:51)出会いのテラス(10:57~11:07)県民の森(11:12)丸山山頂(11:26~12:00)大野峠(12:30)赤谷(13:40~13:45)芦ヶ久保駅(14:10)

芦ヶ久保駅から、しばらく車道歩きが続く。「もしかしてこのまま山頂までずっと車道？」と聞かれるほどだ。「山の



花道」と書かれた標識が数箇所あり、それに従って登る。少しづつ登った所を調節する。更に車道を行き、右に果樹公園村の中の急な階段があり、登って行く。やっと土の道になりホッ！武甲山を左に見ながら登る。雪を被っているように見えるが、実は石灰。



途中、宝くじの収益金で植樹された桜の木がある。時節柄、三億円当たったスويسアルプスにこぼし会全員を招待するなど大風呂敷を広げる人あり。更にしばらく行き、左に登り、山の花道へ向かう。冬なので残念ながら花はないが、春には可憐なカタクリの花の群生がみごとだそう。山の花道を登りきったところで左に行けば日向山だが、今日は予定に入っていないので、右方へ。枯れた藤棚の下でしばし休憩。藤の種は豆の鞘のようなものに入っていると知る。花道をぐるっと回って下り、トイレ休憩。そこからまた車道を歩き、少し先の木の子茶屋を過ぎ、間もなく右側の登山道入口に着く。丸山の熊さ

んはインテリなようで、登山道入口には、「あなたの住む地域に人が音を出しながら入るので襲わないでください」と書かれた看板がある。30分ほど暗い樹林帯を登り、気持ちの良い広い尾根道にぶつかる。そこからは結構急な登り何箇所がある。15分ほど歩き、高篠鉦泉郷分岐を右に取り、間もなく、また車道にぶつかる。「出会いのテラス」に小ぎれいなテーブルとベンチがあり、しばし休憩。そこから30分弱、最後の急坂を登りきり、標高960mの丸山山頂に着く。山頂には、展望台があり、コンクリート造りでおよそ風情のない建物だが、360度の眺望が広がる。風は冷たかったが、お天気に恵まれ、浅間山、八ヶ岳、両神山、日光白根、赤城山、筑波山などが綺麗に見渡せ、最初尾根道までの暗い樹林帯の退屈さを、帳消しにしてくれたかな(?)山頂からは、来た道と反対に南東方向に下り、電波塔下分岐は右に行く。雑木の気持ちよい道を通り、展望がパッと開け、パラグライダー離陸場に着く。間もなく車道が通る大野峠。車道を渡ると、深い杉や檜の森の中の急な下り。沢を左に横目で見ながら下り、朽ちた木の橋を一人ずつ渡り、左に大きな岩があるあたりから傾斜が緩くなる。



最後の急坂を登りきり、標高960mの丸山山頂に着く。山頂には、展望台があり、コンクリート造りでおよそ風情のない建物だが、360度の眺望が広がる。風は冷たかったが、お天気に恵まれ、浅間山、八ヶ岳、両神山、日光白根、赤城山、筑波山などが綺麗に見渡せ、最初尾根道までの暗い樹林帯の退屈さを、帳消しにしてくれたかな(?)山頂からは、来た道と反対に南東方向に下り、電波塔下分岐は右に行く。雑木の気持ちよい道を通り、展望がパッと開け、パラグライダー離陸場に着く。間もなく車道が通る大野峠。車道を渡ると、深い杉や檜の森の中の急な下り。沢を左に横目で見ながら下り、朽ちた木の橋を一人ずつ渡り、左に大きな岩があるあたりから傾斜が緩くなる。

やがて赤谷に着く。独り立ち初リーダーが緊張のあまり、1時間半、休憩を取るのも忘れ一気に下ってしまったが、誰も文句も言わずついて来てくれてありがとう。車道を20分ほどで芦ヶ久保駅に着く。何はともあれ、新米おっちょこちょいリーダーを支えてくださった参加者の皆さん、お疲れ様でした。そしてありがとうございました。



やがて赤谷に着く。独り立ち初リーダーが緊張のあまり、1時間半、休憩を取るのも忘れ一気に下ってしまったが、誰も文句も言わずついて来てくれてありがとう。車道を20分ほどで芦ヶ久保駅に着く。何はともあれ、新米おっちょこちょいリーダーを支えてくださった参加者の皆さん、お疲れ様でした。そしてありがとうございました。



やがて赤谷に着く。独り立ち初リーダーが緊張のあまり、1時間半、休憩を取るのも忘れ一気に下ってしまったが、誰も文句も言わずついて来てくれてありがとう。車道を20分ほどで芦ヶ久保駅に着く。何はともあれ、新米おっちょこちょいリーダーを支えてくださった参加者の皆さん、お疲れ様でした。そしてありがとうございました。

やがて赤谷に着く。独り立ち初リーダーが緊張のあまり、1時間半、休憩を取るのも忘れ一気に下ってしまったが、誰も文句も言わずついて来てくれてありがとう。車道を20分ほどで芦ヶ久保駅に着く。何はともあれ、新米おっちょこちょいリーダーを支えてくださった参加者の皆さん、お疲れ様でした。そしてありがとうございました。

(記・鈴木恵美子)
 (写真提供・伊藤久雄)